

**糖尿病の経口薬（のみぐすり）について**

以前は糖尿病の治療薬として限られた種類しかありませんでしたが、近年多くの薬が出そろってきました。

おもな種類としては次のようなものがあります。

**BG（ビグアナイド薬）**

肝臓での糖の新生を抑えたり、糖の吸収を抑えたりすることによって血糖を下げる

メテット メルビン シベトスなど

**SU薬（スルホニル尿素薬）**

膵臓（すいぞう）に働いてインスリンの分泌を促し、その結果として血糖を下げる

アマリール グリミクロン ダオニール

オイグルコンなど

**フェニルアラニン系薬**

速効型のインスリン分泌促進薬

スターシス ファスティック グルファストなど

 **$\alpha$ -GI（アルファグルコシダーゼ阻害薬）**

食べたものが胃腸を経て吸収される速度をゆっくりにすることによって、食後の血糖の上昇を抑える

ベイスン セイブル グルコバイなど

**チアソリジン薬**

膵臓から出るインスリンの働きを良くする薬

アクトス

（薬品名は商品名、順不同です）

服用方法は食前、食直前など、薬によって若干異なります。薬の効果が最もよく出る方法で服用しましょう。薬についてのご質問があれば高の原すずらん内科またはスギ薬局へご遠慮なくお尋ねください。

**6月も終わりですね、また暑くなります**

今では年中手に入るものですが、やっぱり暑くなると冷たいジュース、アイスクリーム、冷えたスイカやビールがおいしくなります。汗をかいた後などは水代りに欲しくなるでしょう。夏野菜の浅漬けや枝豆などの塩分もほしくなります。でもご用心！真夏になっていない今の季節は、まだ私たちの体は冷たいものをたくさん取る準備ができていません。

一度にたくさんとるのはもう少し待ちましょう（病気のない方）

痛風の皆さん、ビールの飲みすぎにご用心！

糖尿病の皆さん、ジュース、アイス、スイカ、ビールにご用心！

心臓が弱っている方、水分のがぶ飲みにご用心！（塩分も）

腎臓が弱っている方、果物、ジュース、水にご用心！（塩分も）

胃腸の弱い方、冷たいもの、枝豆やピーナツにご用心！

こうして見てみると、自分の病気や体質にとって「良くないもの」が「好物」になっていることが多いことに気がつきませんか？

自分が特に好んでよく食べるものが、本当に自分の体に悪さをしていないかどうか、一度見直してみましよう。

医療法人ひのうえ会 高の原すずらん内科 一般内科・糖尿病代謝内科

〒631-0805 奈良市右京 1-3-4 すずらん館メディカルモール 1F

0742-95-6888 月～土 9:00～12:00

月・木・金 17:00～19:30

院長 平盛裕子 医学博士

認定内科医 糖尿病学会専門医 痛風学会認定医